

# えがお

令和5年7月26日 第82号

坂本住民自治協議会事務局（坂本コミュニティセンター内）

TEL 45-2228・FAX 45-2283

E-MAIL: [ikiiki-sakamoto@outlook.jp](mailto:ikiiki-sakamoto@outlook.jp)

## 「令和2年7月豪雨災害 復興祈念 七夕飾り」を行いました。



令和5年7月2日（日）復興商店街周辺にて「令和2年7月豪雨災害 復興祈念 七夕飾り」を行いました。大雨が続く中、当日は皆様の願いが通じたのか晴天となりました。

菘田会長の挨拶後、「7.4 さかもと安全・安心の日宣言」が行われる中、参加者全員で改めて災害に対する備えを行わなければならないと再認識いたしました。



その後、各地域振興会で思い思いの飾り付けを行い、全部で10本の竹を立てました。

（七夕飾りは7月7日まで展示）

当日は八代市社会福祉協議会の「よんなっせカフェ」も出店いただき、皆さんの乾いたのどを潤していました。

今年は「みくじ掛け」も実施し、八竜小、坂本中の全校生徒50名の復興への「願い事メッセージ」や、当日の参加者の様々な願いを「みくじ掛け」に結び展示しました。

これは半年間、坂本コミュニティセンターで展示する予定です。



## 「7.4 さかもと安全・安心の日宣言」について



○「7.4 さかもと安全・安心の日宣言」とは

毎年7月4日を令和2年7月豪雨災害の慰霊の日とするともに、年月が経過し薄れ行く出来事にならないよう、教訓、経験を次の世代へと伝えていくとともに「安全と安心を確認しあう日」として、宣言いたしました。

7月4日は災害なし「74」の日として来年度以降「安全・安心チェックシート」を作成し全戸配布を行う等、坂本町内での啓発活動を行う予定です。

## 7.4 さかもと安全安心の日宣言

悠々と流れる球磨川の清流は、二つの顔を持っています。日々の暮らしに潤いと恵みをもたらす「豊穡の川」としての顔と、ひとたび豪雨に見舞われると、突如として人々の生命や財産をも奪い去る「暴れ川」としての顔です。

令和2年7月4日、暴れ川と化した球磨川の濁流は、沿岸の民家や田畑を次々と飲み込み、尊い人命までも奪い去ってしまいました。

球磨川の悠久の歴史の中では、幾度となく繰り返されてきた自然の営みの一コマかもしれませんが、私たちにとっては、まさに痛恨の極みであります。

あれから三年・・・被災の悲しみや痕跡は、時の流れと共に薄れてしまい、過去の出来事となってしまいがちです。

しかし、つらい体験から生まれた教訓だからこそ、次の世代に伝えることはもちろん、更なる自然の猛威に備え、それらの経験を活かす努力を惜しまぬことこそ、今の私たちに課せられた責務であり、使命であろうと考えます。

私たちは、今後、起こりうるであろうあらゆる危機に備え、日々の暮らしを点検し、安全と安心を確認しあう日として、毎年7月4日を「さかもと安全・安心の日」として定めることを宣言します。

令和5年7月4日

熊本県八代市 坂本住民自治協議会

